

# 米国政府の後方支援で活躍するヘリコプター

## 世界最大級のエアバス社製H225型ヘリコプター

### ■ 米国政府後方支援の安定需要

米国政府は「世界の警察」の役割を担い、世界中で治安維持や救助活動等に従事してまゝす。このため、ヘリコプターを用いた人員輸送や医療品・食料供給などの物資輸送を含む後方支援の需要が常に存在します。

### ■ 使用機材は、世界最大級の大型ヘリコプター

このような米国政府の後方支援の担い手として広く使用されているのが、エアバス社製のH225です。H225は最大離陸重量11.2トン（有効積載量5.4トン）と世界最大級の大型ヘリコプターとして高い信頼性を誇っています。

特に発展途上国、荒廃した地域、援助を必要とする地域や洋上など様々な場所で使用されることから、その条件に応じてエアバス社の整備プログラムに加入することで、1機当たり年間400～1,000時間の稼働を実現しています。

H225は日本でも海上保安庁、防衛省等で約20機が採用されております。



誇りをもって任務に臨むパイロットの笑顔が印象的

### ■ 厳しい基準を満たした運航会社のみが受託可能

米国政府の後方支援活動は非常に特殊な契約であるため、厳しい基準の下で限られた運航会社だけが受注可能となっています。契約の多くが中・長期契約で、運航会社に安定した収益をもたらしています。弊社の機体のリース先である米国の運航会社は、30有余年に渡る米国政府機関との間で強い信頼関係の下で、長期の契約を継続的に得ています。

また、高い運航能力や整備能力、長時間に及ぶ運航実績はエアバス社からも高く評価され、飛行データの提供、機体の組み立て、パイロット・整備士のトレーニング等、エアバス社に代わって受託業務を行っています。

ITCでは、引続き公共性・社会貢献性の高いリース事業を法人・個人の投資家様にご提供して参ります。弊社のヘリコプター・小型航空機リース事業にご関心をお持ちいただけましたら、是非ご連絡ください。